

調査活動(視察)

7月24日(月)～26日(水)、会派で視察を行いました。

札幌市	小学校と子育て支援総合センター・児童会館・保育園の複合施設
岩見沢市	健康ひろば(健康づくり拠点) 及び あそびのひろば(子育て支援拠点)
小樽市	在宅医療・介護連携推進事業

<札幌市>

複合施設における施設配置の工夫を実際に見学するとともに、各施設運営者間で連絡・調整を密にしている様子をお伺いしました。

<岩見沢市>

健康づくり拠点・子育て支援拠点を通じた中心市街地活性化の具体的な取組みをお聞きし、若年層も含めた全世代に働きかける仕掛けとしての健康ポイント事業についてもお伺いしました。

<小樽市>

医師会が中心となることで連携が進んでいることや、仕組みとして定着させていくための現在の取組み等についてお伺いしました。



施設再編や子育て支援、全世代対応の健康増進施策や在宅医療・介護の推進は、どの自治体も工夫をしながら取り組んでいます。**謙虚な姿勢で他自治体の取組みを調査し、杉並区に適用可能な施策は積極的に取り込めるよう、議会活動の中で活かしていきたい**と思います。

地域での活動

学校防災キャンプ

7月22日(土)～23日(日)、今年も小学校で行われた「学校に泊まろう会」に、スタッフとして参加しました。

今年は、**学校防災倉庫及び災害備蓄倉庫の説明を、私が実施**。防災課への確認や事前の実地確認等、「備蓄」について私自身がしっかり確認する機会ともなりました。

これからも「子供達が多様な経験をする機会」に、**行政とのつなぎ役**も果たしながら、携わっていききたいと思います。



明け方の校庭の様子

読み聞かせ

7月11日(火)、小学校にて「読み聞かせ」を行いました。今回は4年生が対象でしたので、文章に一文字足して違う意味の文にする、という「言葉遊び絵本」を選択。

描かれている絵の面白さも手伝い、かなり子供達から歓声があがりました。今後も学校教育の現場に可能な限り関わり、**“実感を持った政策提言”**につなげていきたいと思っています。



10冊以上の絵本を読んだうえで、当日は左下の『いすにすわってたべなさい。』を読みました。



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第56号(平成29年秋号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX: 03-3247-8660 E-Mail: ikuma@gakushikai.jp
HP: http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成27年5月より4期目。
趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族: 妻、長男(14歳)、長女(12歳)、次男(9歳)。

財政悪化、非民主的意思決定プロセス

～ 平成28年度杉並区決算を分析する ～

平成28年度杉並区一般会計決算が、10月13日の区議会において、賛成多数で認定されました。

私は、①財政悪化(下段参照) ②先見性の欠如と非民主的意思決定プロセス(P. 2参照) ③目標の未達成(P. 2参照) が目立った年であったことから、反対をいたしました。

判断1: 財政悪化

経常収支比率

経常収支比率の推移

総合計画(平成24～33年度)において「経常収支比率(*1)について80%以内を目指します」と定め

ておりますが、**平成28年度は81.9%**と大きく上回りました。また、総合計画前半5年間(平成24～28年度)でも、**過半の3年が目標を達成できませんでした。**

(*1)経常収支比率…財政の弾力性を判断する指標。適正水準は、一般的に70～80%とされている。比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを示している。

基金(貯金)と区債(借金)等の状況

積立基金(貯金)残高は19億円増加(461億円⇒480億円)しましたが、区債(借金)残高が60億円増加(220億円⇒280億円)しており、**貯金と借金の差額が41億円減少**と、大幅に悪化しております。

また、**債務負担行為(*2)における翌年度以降の支出予定額が大幅に増加**していることにも注意が必要です。

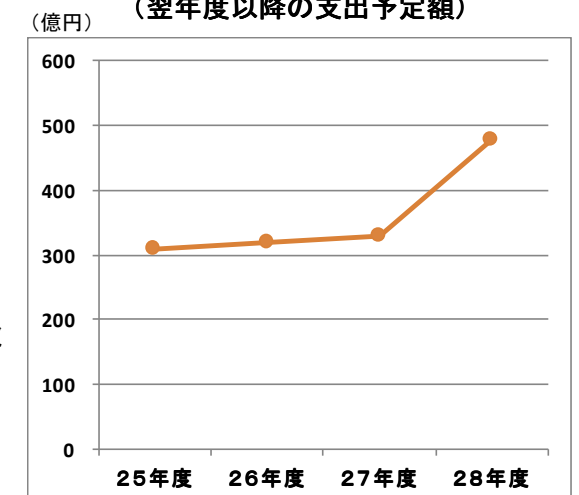
(*2)債務負担行為…建設工事等で支出が複数年度にわたる場合の、次年度以降の支出予定額。

基礎的財政収支(プライマリーバランス)(*3)の状況

平成28年度は**32億円の赤字**となり、**近5年で最大の赤字**となりました。また、**総合計画前半5年間トータルでも、赤字**となっていました。

(*3)基礎的財政収支…借入金を除いた歳入と、借入金返済のための元利払いを除いた歳出の収支。黒字であれば、借金に頼らずに元利払い以外の支出を賄える状態にある。

債務負担行為 (翌年度以降の支出予定額)



次の定例区議会(平成29年第4回定例会)は、11月16日(木)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX: 03-3247-8660 もしくは E-Mail: ikuma@gakushikai.jp



財政指標について、平成28年度は非常に残念な結果となりました。将来世代に負担をツケ回ししないためにも、**長期的な財政展望を示した上で、事業の選択と集中にしっかりと取り組む必要があります。**

判断2: 先見性の欠如と非民主的意思決定プロセス

<先見性の欠如>

区政報告第50号(平成28年春号)で取り上げた通り、平成28年度当初予算は、議会審議が始まる直前に、「**予算の訂正**」(*)が行われました。また、**補正予算も第7号まで編成**されました。

(*)議決科目の金額変更や地方債の目的・限度額の変更を内容としており、本来は議案を出し直すべきものと私は考えております。

<非民主的意思決定プロセス>

区政報告第51号(平成28年夏号)で取り上げた通り、待機児童解消緊急対策に伴う補正予算は、**区長記者会見から2営業日後に、議会(委員会)での審査・採決**が行われました。**政策的な補正予算としては、極めて異例**のことです。



「保育待機児童対策は喫緊の課題」と言いながら、前年11月末に締切られた次年度の保育施設入所申込者数を迅速に把握しようとしなかったため、**長期展望や全体最適の視点を欠いたまま拙速に施策を展開し、区政が大きく混乱**することとなりました。

また、区長記者会見から2営業日後に議会で審査が行われては、区民の方は議会・議員に意見述べる時間的余裕がありません。こうした進め方は、**区民軽視の区政運営**と言わざるをえません。

日にち	会議名等	概要
11月28日(土)		次年度の保育施設入所申込み締切り
2月2日(火)	議会運営委員会	平成28年度当初予算を公表
3月1日(火)	区長記者会見	平成28年度当初予算の訂正 及び 補正予算第1号の追加 を発表
3月2日(水)	本会議	平成28年度当初予算の訂正の申出を議会が承認(岩田は、「議案を出し直すべき」と主張し、反対)
3月2日(水)	予算特別委員会	訂正された平成28年度当初予算 及び 追加提案された補正予算第1号の審査開始
5月13日(金)	区長記者会見	待機児童解消緊急対策及びそれに伴う補正予算第2号を説明
5月17日(火)	臨時議会	臨時議会で待機児童解消緊急対策に伴う補正予算第2号を審査・委員会採決
5月18日(水)	臨時議会	本会議で補正予算第2号を採決(岩田は反対)

審査直前の
予算訂正

この間、わずか
2営業日

判断3: 目標の未達成

保育については、区長を本部長とする「待機児童解消緊急対策本部」まで設置しましたが、

◆(目標)待機児童ゼロ ⇒ (結果)待機児童29名

◆(目標)当初予算で11箇所の保育施設整備 ⇒ (結果)2箇所で未達成

となりました。

さらには、**保育施設設置のために多くの区民の異議を押し切って公園廃止を強行したにもかかわらず、当該公園近傍の保育施設では大きく定員割れ**している(右表参照)という、非常に矛盾した状況となっています。

公園名称	近傍保育施設	定員	空き枠
向井公園	保育室下井草北	15名	5名
	定期利用保育下井草	18名	14名
久我山東原公園	保育室高井戸北	10名	6名
	定期利用保育久我山東	15名	13名
高井戸みどり公園	保育室高井戸西	12名	7名

*定員・空き枠とも1歳児。空き枠は5月1日入所分。

保育定員は確かに1年間で大幅に増加し、待機児童は減少しました。しかし、認可保育所にこだわりすぎて柔軟性を欠き、**区全体での総定員増という「数重視」の拙速に陥ったため、地域別にみると需要と供給にアンバランスが生じています**(この点は、区政報告第52号(平成28年秋号)で指摘しております)。

また、**昨年6月に議会答弁で約束した久我山東原公園の代替場所も、未だ確保できておりません。**



2

決算特別委員会での質疑

9月29日～10月12日、決算特別委員会が開催され、10月2日、3日、5日、10日に質問者として登壇しました。また、12日には、会派を代表して意見開陳(決算の賛否とその理由の説明)を行いました。以下、その一部を取り上げます。

* 決算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画放映(下記)でご覧いただけます。

http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video2_Search.asp



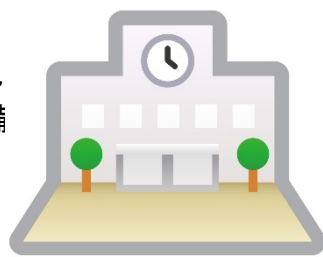
【質問でとりあげたテーマ】

2日	予算の訂正及び補正予算(P. 2参照)
	財政(P. 1参照)
3日	広報
	内部統制他地方自治法等の改正
5日	保育(P. 2参照)
10日	富士見丘小・中学校の一体的な整備

【富士見丘小・中学校の一体的な整備】

平成28年度、富士見丘小学校を移転して富士見丘中学校と一体的に整備するため、中学校に隣接する企業用地を取得しました。

また、当該企業用地に隣接する都市計画高井戸公園(現在、東京都が整備中)の一部を、学校の校庭としても利用できるよう、東京都と協議を進めており、**3月に都区間で確認書が締結**されましたので、その内容等を確認いたしました。



質疑の中で、

◆ 高井戸公園内に**5,000㎡相当の区の管理による多目的広場**を設置する



◆ 使用料については、**免除規定の適用**を受けられるように都和協議を行っていくことが確認できました。子供達により良い学校環境を構築できるよう、引き続き都との協議の状況等を注視していきたいと思います。

【有料駐車場稼働率】

下表のとおり、稼働率が低いにもかかわらず、一般利用(施設利用者以外の利用)ができない有料駐車場があります。今後、稼働率の状況を勘案しながら、**一般利用の可否を適切に見直していくべき**ことを質問しました。

施設名称	駐車可能台数	一般利用の可否	稼働率(平成28年度)
上井草スポーツセンター	52	否	29.3%
下高井戸運動場	28	否	12.5%
井草森公園	50	可	18.2%
セシオン杉並	26	可	44.5%



答弁では、曜日や時間帯等を勘案しながら、利便性の向上に向けて研究していきたい旨が示されました。**区の資産を少しでも有効に活用**できるよう、

個々の取組みにも着目していきたいと思えます。なお、この質問は、区民の方からの相談をもとに行いました。



【内部統制への取組み】

今年6月、地方自治法等の一部を改正する法律が公布され、内部統制に関する方針の策定及び内部統制体制の整備が、杉並区長の努力義務となりました。**最近、区政において個人情報漏洩等が目立つ**ため(平成28年度は7件、平成29年度は7月段階で6件)、当区として内部統制にどう取り組んでいくのか、確認をいたしました。



質疑の中で、杉並区も、**財務及び情報管理に関するリスク等について、内部統制に関する方針の策定及び体制整備に取り組んでいく**ことが確認できました。今後は進捗状況を確認していきたいと思います。

3